

## ネオシティ大和高田 自主防災組織

ネオシティ大和高田自主防災組織  
活動概要等について

1. 活動概要
2. 活動内容
3. 防災行動力の向上
4. 活動における苦勞・課題
5. 今後の予定

奈良県大和高田市根成柿380-1  
ネオシティ大和高田

## 活動概要

・活動の概要

当「ネオシティ大和高田」は平成6年～7年にかけて5階建ての3棟で建てられ、約500世帯（約2,000人）からなる集合マンションです。

平成7年の阪神淡路大震災後、災害発生時の居住者の安全、安心を合言葉に自主防災組織結成の機運が高まり、平成10年に居住者の承認を得て自治会、管理組合、が中心となり平成11年に自主防災組織を結成致しました。

以後、防災組織が中心となり、マンション居住者に対する防災意識の向上を図る為の防災訓練、講習会、避難場所までの安全確認を兼ねた図上訓練、防災マップ・ハザードマップの作成等の実施。



## 活動内容

・活動の内容

1. 自主防災組織の結成  
自治会長を組織の代表とし、自治会役員、管理組合役員を各班の責任者、自治会評議員（隣組班長）および小・中各PTAの協力の下、マンション全体にて組織を編成。
2. 防災意識の向上  
①自主防災に対する冊子、掲示物に作成  
②普通救命講習会の実施  
③防災訓練、DIG（図上訓練）の開催  
④防災防犯に於ける敷地内外の駐車取締り  
⑤防災防犯に於ける敷地内外の夜間パトロール
3. 防災コミュニティ作り  
①マンション内の消火器の配置による消火の徹底および迅速化  
②非難経路の確保および避難誘導の徹底  
③防災組織の規約および組織作り（班編成、活動内容の見直し等）  
④防災計画の立案  
⑤定期自主防災会議の開催

## 防災行動力の向上

防災行動力の向上

- ①大和高田市の防災訓練への積極的な参加
- ②防災訓練での体験型の消火訓練、非難・誘導訓練、給食給水訓練、情報伝達訓練、救護訓練等の実施による行動力強化
- ③防災訓練でははしご車による救助、起震車、煙中ハウス等による体験学習
- ④普通救命講習会に於けるライセンスの取得
- ④DIG（図上訓練）、防災・防犯安全マップの作成
- ⑤街歩きによる地域の現状確認
- ⑥自治会広報誌、掲示板、必要時には全戸配布による防災防犯啓発文書の配布

防災資機材の整備

- ①防災倉庫の設置
- ②救助・救急用品の整備（発電機、給水ポンプ、照明器具、バール、担架、車椅子、包帯、三角巾、薬品関係等）
- ③給食、給水用品の整備（炊き出し用大鍋、ガスコンロ、BBQコンロ等の機材、アルファ米、乾パン等の備蓄）
- ④その他用品の整備（避難用シート、本部用・救急用テント、連絡用無線機等）

## 活動の写真



## 活動における苦勞

設立における苦勞

当時、組織の設立の提唱にすべての居住者が賛同したわけではありません。新築で居住者も20歳代～40歳代と比較的若い世代でした。そのため子どもも小さく自分たちの事を優先する傾向が強かった。自治会（評議員も含め組織をすべて活用して）の呼びかけにより防火管理者である管理組合に理解と協力を求め、基礎となる自主防規約の制定、活動計画の制定の提示により自治会総会、管理組合総会で承認頂き結成に至りました。設立において十分な時間もなく、消防署、市役所への相談や助言を頂きながら連日の会議、打ち合わせ、規約の見直し等、精神的にも体力的にも大変だったと諸先輩方より聞きました。結成後の今日でも防災意識の希薄な居住者もおられ、中には「自分さえ良ければ」とか「なぜ人の事まで」、「余分な苦勞はしたくない」と考えている方や新規入居のお若い方など協力を拒まれているのが実情です。しかし、それらの方々にも参加協力を今得られないにしても防災意識が向上していけば活動の重要性を理解し協力頂けるよう地道な活動ではありますが、自主防災組織を現状維持ではなく、向上するような活動に取り組みたいと感じております。

## 活動の写真



## 活動における課題

### 活動における課題

- ①訓練の実施に際して、マンション内という限られた空間での活動状況のため、場所の確保が困難ではあるが現在は居住者の理解、協力を経て敷地内駐車場を利用して訓練を行っている。
- ②居住者に対する防災意識向上に繋がる啓発活動の継続。
- ③訓練内容の充実および組織内の連絡体制の徹底。
- ④資機材の充実。
- ⑤備蓄の整備。
- ⑥規約の整備。
- ⑦継続的向上の為の組織づくり。
- ⑧災害時要援護者対策の確認。
- ⑨居住者の名簿作成。
- ⑩マンション内、各団体（老人会、民生委員、小・中各PTA）との連携による情報提供。
- ⑪マンション外、各団体（警察署、行政、消防署、地域内各自治会）との連携による情報提供。
- ⑫居住者への意識調査。

## 今後の予定

現在、自主防災組織における検討委員会を立ち上げました。

役員交代に伴う申し送りの不備や活動の内容、課題、向上事項を踏まえ、これからの自主防災組織に必要な継続的活動の見直し、規約の見直し、資機材等の設備の充実と活動の充実の為、近隣自治会、地域自警団、警察、消防、行政との情報の交換や住民の情報提供、教育プログラムによる意識向上、災害時要援護者等の名簿の整備などアウトラインを作成し検討課題を減らして行ける様努力しています。

マンション住民1人1人の安全確保という目標を掲げ、自主防災組織の結成以来、毎年防災訓練や啓発活動を高田消防署と連携して実施しているが今の状況に甘んじる事無く、更に向上し住民の防災意識を高め多くの方が参加できるような組織を目指して行きたい。